

# お弁当の新商品開発

学生による商品提案までの授業の進め方

生活デザイン学科の三年生を対象とした「食企画・開発実習A・B」は、食品開発を実践的に学ぶ実習授業です。この授業では、企業から提示頂いたテーマに沿った商品開発を行います。今年度は、株式会社スーパーアルプスのご協力を得て、お弁当の商品開発に取り組みました。

最初の授業で学生たちは、連携企業より、素材の概要、商品開発の目的等テーマについての説明を受けました。今年度はバックヤード見学という貴重な体験もさせて頂きました。

その後、グループに分かれて調査、アイデア抽出、整理、試作等の作業を行い、中間時点では、自分たちのアイデアを企業に説明し、企業の方から意見を頂きました。こうした手順を経て、商品提案をブラッシュアップしていきました。



## プロジェクト概要

- テーマ  
お弁当の新商品を開発する。
- パートナー  
株式会社スーパーアルプス
- 担当教員  
奈良一寛准教授、岩見哲夫 教授、  
山崎 薫 准教授  
(現代生活学部生活デザイン学科)
- 実施期間  
平成26年9月～  
現在も販売連携中

スーパーで開発商品を販売

各グループごとに提案商品を仕上げ、成果報告会で発表しました。素材の特徴を活かしたお弁当が多数披露されました。開発商品のうち、「彩りチキンの香味ダレ膳」、「旨辛チキン弁当」、「石田豚ロースの生姜焼弁当」、「彩り鶏づくし弁当」が株式会社スーパーアルプス全店舗にて販売されました。

また、一昨年度にも授業連携させて頂いた学生のデザインがコラボ弁当販売用シールとして採用されています。

私たちが食べたい! 食べさせたい!  
お弁当をアルプスと一緒に作りました

東京家政学院大学  
生活デザイン学科  
コラボ企画

▲このシールが目印です



東京家政学院大学のアルプス弁当作成チームの皆さん